



院長通信



2025年12月 Vol.3

「楽をする」ことと「怠ける」こと 一本当の働き方改革－

日本の社会では往々にして「楽をする」ことが「怠ける」ことと混同され、悪い意味合いにとられることが多いと思います。

一方で、「忙しい」ことは「頑張っている」ことにつながるようで好意的にとられがちではないでしょうか。

しかし、最近ではこのような発想が「日本企業の生産性」の低さにつながっているという指摘があります。



業務フローを見直したり、それぞれ自分流でやっていた業務をマニュアル化したり、ITを導入したりすることで業務を標準化・効率化し、業務を「楽にする」ことで残業を減らし、新しい領域に取り組んでいくことこそが個人・組織の成長につながります。

業務の見直しや工夫もないまま仕事に追われて、「忙しい、忙しい」と言いながら残業だけが増えていくようなやり方では、個人にも組織にも将来への展望はありません。

従来のやり方を変えたり、新しいやり方を提案したりすることは決して楽なことではありませんが、自分だけでなく、皆が「楽ができる」ために、より良いサービスの提供のために、今一度、日々の業務について考え、話し合い、提案していただくことを切に願っております。

みなさまからの提案に関しては、「職員提案箱」を設置します。設置ができ次第、お知らせいたします。

院長 福田 亘



医療法人社団育生会